

今回の農業体験

「北海道の農と食」講義の農業体験を経て

―大変さだけでなく楽しさもある―

で、食を支えているのが農であるということを知ることが出来ました。農家の方々がいることで私達は野菜を食べて健康に過ごすことができ、実際に農業体験をすることによってどのような思いで農作物を作っているのか、実際に感じるこ

とができました。自然の多い名寄という地域で農業体験することによってどんな環境で生活しているのか、苦労していることなどを知れました。

農家で働く人々が減っているために、畑を手放す農家の方が多くなっている現状を知ったこと、農家さんが何かあった時に代わりに仕事を回す人がいなくなる

と困るので仕事を教えていかなければならないことなど問題が沢山あるのだなと感じました。それによりお金が掛かることや機械を増やさなければならぬこと

も問題だなと思いましたが、今抱えている現状の問題はどのようなものなのか、環境によってどのように作物が変化してしまうのか身をもって知ることが出来るのでとても良い

時に加わりに仕事を回す人がいなくなるという地域で農業体験することによってどんな環境で生活しているのか、苦労していることなどを知りました。

とだけではなく、収穫していきうちに作物に対して愛着を湧くようにもなりより一層大切に扱おうという気持ちにもなりました。

農業体験をするには、農作物を作るのどのような過程があるのか、今抱えている現状の問題はどのようなものなのか、環境によってどのように作物が変化してしまうのか身をもって知ることが出来るのでとても良い



経験であると言えます。

ぜひ、

来年も農と食を体験する人達

が沢

山に

いる

ことを

期待

します。

とても

楽し

く学

ぶこ

とが

出来

るので良い機会だと思っています。

看護学科2年

吉岡香音